

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立西条農業高等学校

学校番号 ( 10 )

評価実施日		令和5年2月15日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	渡辺健太郎	西条農業高等学校前PTA会長	
	井上 彰	西条市立西条南中学校教頭、学校評議員	
	谷口 晃	西条市青少年育成センター所長、学校評議員	
	宇佐 幸子	株式会社ミラーズウサ代表取締役、学校評議員	
	浜田 誠一	西条市大町公民館館長、学校評議員	
	近藤 一雄	西条市大町会館館長、学校評議員	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
<p>今年度の最終評価について</p> <p><b>1 教育方針・重点努力目標</b></p> <p>農業教育を通して、専門的な学びを身に付けさせるだけでなく、高校生レストランやアンテナショップ等、地域へ出向いての様々なイベントや幼稚園、小中学校との交流などを意欲的・精力的に行うなど、将来地域に貢献する人材の育成に努めている。</p> <p><b>2 学習指導</b></p> <p>教科指導については、基礎・基本を重視し、ICTを大いに活用して工夫した授業を実践するなど、分かる授業を追求している様子が見えてくる。ただ、家庭学習において、平日1時間、考査中2時間以上の数値目標を達成できていない。進路実現に向けた意識付けを早い段階から行い、自主的に勉強できる生徒を育ててほしい。</p>		<ul style="list-style-type: none"><li>委員の皆様からは概ねお褒めの言葉をいただいたが、本校の行っている教育活動が十分に地域や中学校に伝わっているかということでもない。HPや各種メディアを利用するなど広報活動に力を入れて、情報発信を行っていききたい。</li><li>一人一人の特性等を見極め、関わりのある全ての教職員による助言等、進路実現に向けた意識付けを早い段階から行いたい。また、多様な生徒への配慮や個別指導の充実など、一人一人を見つめたきめ細やかな教育をさらに進めていきたい。一人1台端末を、各授業において効果的に活用するとともにオンライン授業の更なる研究にも努めたい。</li></ul>	

### 3 進路指導

就職・進学希望者のほぼ全員が希望する企業や短大・専門学校等に内定していて素晴らしい。今後とも、ふるさとを愛する心を醸成し、地域に貢献できる人材の育成に取り組んでほしい。一方で農業教育活動の実績等を用いて、AO や推薦でハイレベルな大学に挑戦する生徒が出てきてもいいのではないかな。

### 4 生徒指導

校則の見直しについては、是非生徒を主体にしてやってほしい。

問題行動の発生件数が多いように感じる。特に問題行動を起こした後の指導を適切に行ってほしい。生徒たちが相談しやすい環境をつくることも大切である。

### 5 農業教育

生徒一人一人の得意分野を活かし、様々なコンテストへの挑戦や地域との連携活動など、地域と一体となった教育活動が展開されている。地域の中で育つ学校として期待しています。

・就職については、今後とも企業との連携を深め生徒が希望する就職先の開拓を続けたい。進学についても、生徒の進路目標に応じて、進路課外の見直しや個別指導を充実させたい。大学進学を考えている生徒には早い段階で意識付けを行い、少人数校のよさを生かし個別に多くの教員が関わるようにしたい。

・問題行動の未然防止に向けて、様々な場面を活用して規範意識の向上につながるような指導に努めていきたい。特に SNS 絡みの問題行動が後を絶たないので、継続的に何度でも指導していく必要がある。校則の見直しについては、世間からも注目を集めているところでもあり、コロナをきっかけに教育界に残る古い価値観を刷新していきたい。

・生徒たちの自己有用感を高めるためにも地域との連携活動などを今以上に推進していきたい。関わっていただいている先生方の負担が重すぎにならないよう、業務量の調整も行っていきたい。